

公 募 説 明 書

下記に記載する内容及び条件において、当該業務等が実施可能であり、かつ、入札または企画競争を実施した場合、参加意思を有する者の有無を調査するため参加者確認公募に付す。

記

1. 参加者確認公募に付する事項

- (1) 公 募 件 名：「外部被ばく線量測定作業」
- (2) 趣旨及び概要：仕様書による。
- (3) 数 量：一式
- (4) 作 業 期 間：2021年 4月 1日 から 2022年 3月31日
- (5) 作 業 場 所：茨城県那珂郡東海村白方字白根2-53
公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター内指定場所

2. 必要書類等の提出場所等

(1) 契約事項を示す場所及び提出場所等

郵便番号：110-0015
所在地：東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階
機 関 名：公益財団法人核物質管理センター
担 当 部 署：総務部 契約課
フリガナ：ミネギシ カズキ
担 当 者 名：峯岸 一樹
電話番号：03-5816-7765
F A X：03-3834-5265
M a i l：minegisi@jnmcc.or.jp

(2) 参加意志確認書の提出期限

2021年 1月27日(水) 午後4時まで
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着(郵送可)
なお、参加意思確認書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るようにすること。

(3) 提出書類

- ・仕様書5.を証する資料 2部

3. 参加者確認公募に参加する者に必要な資格

(1) 次の①～⑤に該当する者は公募に参加することができない。

- ①成年被後見人
- ②未成年者、被保佐人及び被補助人(契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。)
- ③破産者で復権を得ない者
- ④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者(代理人、支配人、その他のとして使用する者についても、同様とする。)
- ⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者

(2) 2020年度 国・地方公共団体等における競争参加資格(東北、関東・甲信越)の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

4. 参加意思確認公募の手続き

参加意思確認書を提出した者に対して審査を行い、審査結果を通知する。
審査の結果、公募要件を満たす者が2者以上いる場合は、指名競争入札、複数者による見積合わせ又は企画競争を行う。
応募者がいない場合は、特定の者と随意契約の手続きを行う。

公益財団法人核物質管理センター
総務部長 水原 泰

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 水原 泰 殿

住 所

商号又は名称

代 表 者 名

参加意思確認書

2021年1月8日付で公示の下記の業務等について参加意思がありますので、参加意思確認書を提出します。

なお、本確認書に記載されている内容及び添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

1. 業務等の名称 「外部被ばく線量測定作業」

2. 添付資料

(1) 国・地方公共団体等における競争参加資格(東北、関東・甲信越)を証する書類

(2) 本業務等の遂行に必要な資格及び実績を証する書類

(3) その他必要な書類

※(2)及び(3)は、公募説明書において提出を求めた書類とする。

所 属

役 職 名

氏 名

電 話 番 号

F A X 番 号

電 子 メ ー ル

外部被ばく線量測定作業
仕様書

2021年度
公益財団法人核物質管理センター

目次

1. 件名	1
2. 目的及び概要	1
3. 作業期間.....	1
4. 作業内容.....	1
4.1 個人被ばく線量計の測定及び線量評価	1
5. 作業に必要な資格	2
6. 提出書類.....	3
7. 検収条件.....	3
8. 適用法規・規定等	3
9. 特記事項.....	3

1. 件名

外部被ばく線量測定作業

2. 目的及び概要

本仕様書は、公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター(以下「センター」という。)の放射線業務従事者が作業において使用した個人被ばく線量計の測定作業を受注者に請け負わせるための仕様について定めたものである。

受注者は関係法令等を十分理解し、受注者の責任と負担において本作業を実施するものとする。

3. 作業期間

2021年4月1日から2022年3月31日まで

4. 作業内容

受注者はセンターの放射線業務従事者が作業に使用した個人被ばく線量計の測定及び線量評価を行い、その結果を報告書にまとめて提出期限内にセンターへ報告を行う。

4.1 個人被ばく線量計の測定及び線量評価

放射線業務従事者が作業に使用した個人被ばく線量計(中性子広範囲用ガラスバッジ、ガラスリング)について測定及び線量評価(実効線量及び等価線量)を行う。中性子広範囲用ガラスバッジについては、毎月線量測定等行うものとするが、ガラスリングについては、センターからの依頼に基づき測定等を行うものとする。

(1) 測定対象個人被ばく線量計及び測定数

1) 中性子広範囲用ガラスバッジ(NS型) : 65個/月(780個/年)

内訳 1号交付金* : 28個、2号交付金* : 37個

* : ガラスバッジに表示

2) ガラスリング(JQ型) : 不定期、
センターから依頼の都度測定

(2) 個人被ばく線量計の測定方法

個人被ばく線量計の測定方法については、社内基準等により標準化された方法で確実に測定結果を算定できる方法であること。

(3) 線量評価

個人被ばく線量計の測定結果より、実効線量及び等価線量(水晶体、皮膚)について線量評価を行うものとする。詳細については作業前にセンター安全管理課と調整を行うものとする。

(4) 評価結果の報告

1) センターから受注者への個人被ばく線量計の引渡し日は、原則毎月10日迄に行うこととする。受注者は、個人被ばく線量計を受取り後速やかに測定を行い、評価結果を報告書にまとめて毎月17日迄に報告すること。

報告は「個人線量報告書」と「個人モニタ測定値報告書」に分けて行うこと。

「個人線量報告書」には、実効線量（月、年度累積値）、等価線量（水晶体、皮膚）（月、年度累積値）を記載し、「個人モニタ測定値報告書」には、1cm線量当量（X_γ線、中性子）、70μm線量当量（X_γ線、β線）を記載すること。

2) 報告書への記載内容は以下の項目を含むものとする。

No	報告項目	ガラスバッジ	ガラスリング
1	事業所名	○	○
2	算定日	○	○
3	測定日	○	○
4	氏名及びコード	○	○
5	性別	○	○
6	部位	○	○
7	使用期間	○	○
8	実効線量	○	
9	累積線量	○	○
10	等価線量（水晶体、皮膚）	○	
11	整理番号	○	○

3) 評価結果の単位は、ミリシーベルト（mSv）で記載すること。

4) 実効線量又は等価線量の評価結果が1ミリシーベルト以上であった場合は、直ちにセンター安全管理課へ連絡すること。

5) センターが受注者に対し「マティ申請書」を提出した場合は、「腹部表面」の線量及び妊娠期間中の累計線量も報告すること。

(5) 緊急時における線量計の測定及び線量評価

1) センターが受注者に対し緊急で線量計の測定を依頼した場合は、受注者は線量計を受取り後、24時間以内に線量評価報告できる体制を整えておくこと。

2) 個人被ばく線量について、累計線量調査を依頼した場合対応出来る体制を整えておくこと。

5. 作業に必要な資格

放射線個人線量測定機関認定を受けた事業者であること

6. 提出書類

No	書類名	提出時期	部数
1	放射線個人線量測定機関認定証の写し	業務開始前までに	1部
2	個人線量報告書	線量計受取り後7日以内又は毎月17日迄に	1部
3	個人モニタ測定値報告書	線量計受取り後7日以内又は毎月17日迄に	1部
4	終了届・検査調書	測定実施後速やかに	1部

(提出場所)

センター 安全管理課

7. 検収条件

「6. 提出書類」の確認及び本仕様書の通りに作業が実施されたとセンターが認めるときをもって検収とする。

8. 適用法規・規定等

- (1) 電離放射線障害防止規則
- (2) その他関係法規、規格、基準

9. 特記事項

- (1) 本仕様書に明記の無い事項または疑義が生じた場合は、速やかにセンター安全管理課と協議し、その決定に従うものとする。
- (2) 受注者は、本作業を遂行する上で知り得た個人情報等は秘密扱いで管理し、その保持に努めるとともに、本作業以外の目的には使用しないこと。

以上